

令和6年度第4回経営協議会議事要録

日 時 令和7年2月7日（金） 10時00分

場 所 KKRホテル名古屋 福寿の間

出 席 学内委員6名（欠席なし）、学外委員6名（欠席1名） / 会議成立

開会 10時00分

開会にあたり、議長（学長）からあいさつがあった後、本日出席の委員数が確認され、会議成立が宣言された後、総務課長から、本日の配付資料の確認及び会議日程等の説明があった。

前回議事要録の確認

前回会議（令和6年度第3回）の議事要録を確認した。

議題

1. 令和6年度国立大学法人愛知教育大学補正予算について

議長から提議され、太田委員（総務・財務担当理事）から、令和6年度の補正予算について12月末に文部科学省から防災機能強化に係る体育館空調整備に必要な経費等のほか、附属学校における学習者用PC等の更新経費として補助金の示達があり、学内予算として措置する旨資料に基づき説明があり、次いで、以下のとおり質疑応答の後、原案どおりこれを承認した。

○学外委員からの質疑 ●大学側の回答

- 1人1台端末の調達は競争性を持って実施されているか。また、購入後のメンテナンス性などにも考慮した調達をお願いしたい。
- 調達の際は、適正価格となるよう公正を期して実施している。

2. 業務達成基準（業務の実施に伴い運営費交付金を収益化）を適用する業務について

議長から提議され、太田委員（総務・財務担当理事）から、業務の実施に伴い運営費交付金を次年度へ繰り越してできるよう該当業務を法人決定することについて、資料に基づき説明があった。続いて、該当業務について、附属学校の老朽化に対応するインフラ長寿命化促進・修繕事業及び学内の情報ネットワーク・DX促進設備整備事業に関し、業務実施期間が長期にわたり事業完了が次年度以降になるため業務達成基準を適用することについて、資料に基づき説明があり、原案どおりこれを承認した。

3. 令和7年度国立大学法人愛知教育大学予算編成方針について

議長から提議され、太田委員（総務・財務担当理事）から、令和7年度の学内予算を編成するにあたり、昨今の物価上昇、人事院勧告による人件費引き上げ、光熱費高騰など基盤的経費を大幅に圧迫する厳しい財政状況に対応していくため、中期的財政計画を見直し実施方針を定めることについて、資料に基づき説明があり、次いで、以下のとおり質疑応答の後、原案どおりこれを承認した。

- 大学研究費について、繰越再配分を段階的に縮小することを目指すところがあるが、なぜそういった運用をしていたのか、また、それを縮小することでどのような結果が得られるのか。
- 大学研究費は、年度内予算の執行が原則ではあるが、研究の継続性を考慮し繰越配分の制度があったと思う。その繰越制度の運用において、次年度の予算を圧迫するという問題が生じるようになったため、研究費の繰越を段階的に縮小することとした。また、研究のために必要な備品などを購入する場合は、前借制度を設け運用している。
- 当初予算額の一律５パーセントを削減したうえで予算を確保するとあるが、削減するにあたっては何をもって削っているのか、そのプロセスを説明いただきたい。
- 予算編成方針にて掲げた重点事項についてどのような充実を図ったのか、５パーセント削減するにあたり工夫した点など、具体例を交えながら、次回本会議での令和７年度予算案提示の際に説明させていただく。
- 研究を遂行するための、外部資金の獲得は財団の助成金などの活用をしているか。
- 財団の助成金の活用については、教員へ案内し応募を促している。また、研究活動のための外部資金の獲得ということにおいては、大学として科学研究費補助金の獲得のための支援を行い科研費獲得数向上の取り組みを行っている。
- 附属学校の体育館に空調機を設置し始動すると、稼働に係る光熱費や地球温暖化への影響の問題が出てくる。その対策として太陽光発電などの整備は考えているか。
- 大学をあげて省エネ対策を実施し費用の捻出に取り組んでいる。更なる省エネ対策として建物ごとの電気料を点検し削減できる方法を提案する取り組みを行うなどしている。太陽光発電など再生可能エネルギーの活用に取り組んでいく。附属学校の体育館に空調機が設置されると、光熱費や更新費の積み立てが必要になる。今のところ国からは更新費などの財源の措置は示されていないため、大学として考えていく必要があるが、大学の経営状況は厳しく大学が負担することは困難である。そのため、附属学校園と維持管理費及び更新費の積み立てなどについて、保護者の理解を得ながら進める方法を検討しているところである。
- 大学研究費を保証することで研究活動の活性化に繋がることもある。また、大学として授業料のほかに収益事業に関してどのように考えているか。
- 大学研究費の基礎的な部分は措置している。研究を進めるためには科研費を獲得するなどし、研究成果をあげていただきたいと思っている。収益事業に関しては、大学の施設を学外者へ貸し出し、その利用料として収入を得ている。他大学でも様々な収益事業を行っており、それらを踏まえ本学として実現可能なものを検討していきたい。
- 前回の本会議でも申し上げたが、令和７年度予算の人件費の計上について、既定の人件費と人事院勧告引き上げ対応の見込み分の人件費の計上は分けて計上していただきたい。
- 次回の本会議で、令和７年度予算案提示の際に人件費の状況を説明させていただく。

報告

１．令和７年度国立大学法人運営費交付金等予算額の伝達について

太田委員（総務・財務担当理事）から、令和７年度国立大学法人運営費交付金等の本学への伝達の主な内容のうち、教育研究費等基幹経費、ミッション実現加速化係数対象経費、成果を中心とする実績に基づく配分、教育研究組織改革分、附属学校機能強化分及び基盤的設

備等整備分に関し、資料に基づき説明があり、併せて、令和7年度予算伝達における評価結果について、資料により説明があった。また、令和7年度概算要求したもののうち、今年度の補正予算で3件措置されたことについて、資料に基づき説明があり、次いで、以下のとおり質疑応答の後、これを了承した。

- 評価結果の内容については文部科学省から説明はあるのか。昨年度より配分率が上下した項目について気になった。
- 文部科学省から評価結果に関する説明はない。各大学から、それぞれの項目のデータを提出しているため、他大学の情報を入手しそれらを確認しながら本学のデータを分析していきたい。

2. 附属岡崎中学校校舎（普通教室）改修について

太田委員（総務・財務担当理事）から、老朽化していた附属岡崎中学校の普通教室の改修工事を実施し、新しい時代の学びに対応した施設や省エネルギー化への改修が終了したことについて、資料に基づき説明があり、これを了承した。

その他

次回（令和6年度第5回）開催日程について

議長から、次回会議は3月17日（月）午後に本学で開催する予定である旨説明があった。

閉会 11時34分